

ホウ素欠乏・苦土欠乏・カルシウム欠乏が
出やすい作物の専用液肥

カルマグホウ素[®]-PK

発泡性で溶けやすい粉状液肥 (葉面散布用)

1kg入り

肥料登録番号 生第83827号



特長

- ホウ素欠乏、苦土欠乏、カルシウム欠乏の予防と回復に同時に効く製品はこれまでありませんでしたが、それを可能にしたのが本材です。
- ホウ素8.6%、苦土7.8%、カルシウム(CaO)9.2%、リン酸7.5%、カリ5.0%に、鉄、マンガン、モリブデン、亜鉛、銅をバランスよく配合してあるため、白菜等の芯腐れ・ゴマ症、大根の褐変空洞化、レタスのふち腐れ、トマトの尻腐れ、ぶどうの不稔など、ホウ素欠乏、苦土欠乏、カルシウム欠乏に起因する諸症状の予防に適した肥料です。
- 葉緑素形成に重要な、苦土、鉄、リン酸の成分が多く、光合成能増進目的にも活用いただけます。

保証成分(%)					含有成分量 (%)				
リン酸	カリ	苦土	マンガン	ホウ素	カルシウム(CaO)	鉄	銅	亜鉛	モリブデン
7.5	5.0	7.8	0.61	8.60	9.2	0.21	0.06	0.06	0.10

ロイヤルインダストリーズ株式会社

製造元

〒201-0003 東京都狛江市和泉本町1-15-19
TEL 03(3489)1408 FAX 03(3489)9308

【JAちばみどり様】

キャベツや大根、トマトのカルシウムやホウ素欠乏症、きゅうりや春菊等のカルシウムや苦土欠乏症対策として推奨。根傷みや窒素の急激な吸収に加え、高温・乾燥や曇雨天など天候ストレスにより誘発される欠乏症への予防として、一材で各種要素障害をカバーできる「総合微量元素」といった点を評価している。

使用目的と使用方法

海藻エキス「ケルパック66」と混用するとさらに効果が高まります。

対象作物	使用目的	欠乏症の予防方法と 欠乏症が発症してからの対処法	
白菜	芯腐れ、ふち腐れ、ゴマ症の予防に	通常は500～1000倍液を7～10日おきに4～5回散布する。 欠乏症状が現れた場合は300倍液を3～7日おきに1～2回散布する。 その後は通常散布に戻す。 いずれの場合もケルパック66 1000倍(100ℓ/10a)または2000～3000倍(300ℓ/10a)との混用散布をお薦め致します。	
キャベツ、レタス	芯腐れ、ふち腐れの予防に		
セロリ、たまねぎ	ささくれ症、芯腐れの予防に		
大根、かぶ	芯の褐変空洞化の予防に		
ほうれん草	奇形葉の予防に		
はなやさい	花蕾の褐変の予防に		
ブロッコリー	水浸症の予防に		
アスパラガス、トルコキキョウ、カーネーション	花および茎の奇形化の予防と回復に		
ビート	糖度アップに		7月中旬、8月上旬、8月中旬～9月上旬の計3回500倍液を散布する。 ケルパック66 1000倍(100ℓ/10a)との混用散布をお薦め致します。
メロン	果肉の褐変、醜酵果の予防に		通常は開花3～1週前に500～1000倍液を1回散布し、開花後は2～4週おきに3～5回葉面散布する。 欠乏症状が現れた場合は300倍液を3～7日あけて1～2回散布する。 その後は通常散布に戻す。 いずれの場合もケルパック66 3000倍(300～500ℓ/10a)との混用散布をお薦め致します。
トマト	尻腐れ予防、果肉の褐変予防、着色向上、着果率向上、増収		
ピーマン、パプリカ	着果率向上、増収		
きゅうり	果実の曲がり予防、秀品率の向上、増収		
りんご	縮果病、コルクスポット、ビターピットの予防に		
梨	石梨、みつ症の発生の予防に		
ぶどう、桃、梅、栗、クルミ	核果類の結実向上、増収		

注意事項

- ホウ素は過剰使用すると薬害が出るので過剰使用は避けること。
- 子供の手の届かないところに保管すること。万が一誤って大量に飲み込んだときは大量の水を飲ませ吐き出させること。
- 石灰硫黄合剤との混合は有毒ガスが発生する恐れがあるので混合しないこと。
- ボルドー液または銅水和剤との混合散布・近接散布は薬害が出ることがあるので避けること。薬害回避のためには散布液100ℓにつき硫酸亜鉛200g又は炭酸カルシウムを2～3握り加用すること。
- 薬害の出やすい農薬との混用は避けること。
- りんごではミツが入りやすくなるため長期貯蔵りんごには使用しないこと。

包装形態

1kgポリ袋入り×20袋/ケース